

畜産農家、耕種農家、コントラクターが連携した飼料生産の取組

(愛媛県：東宇和コントラクター研究会)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：愛媛県西予市
- 代表者：代表 那須 秀樹
- 供給農家戸数：40戸（酪農家、繁殖農家）
- 飼養頭数：総頭数1161頭（経産牛841頭、育成牛320頭）
- 飼料作物作付面積：（トウモロコシ29ha、ソルゴー30ha、混播26ha、稲WCS 28ha）
- 雇用者数：6名（R4.2時点）（パート含む）



トウモロコシの収穫風景

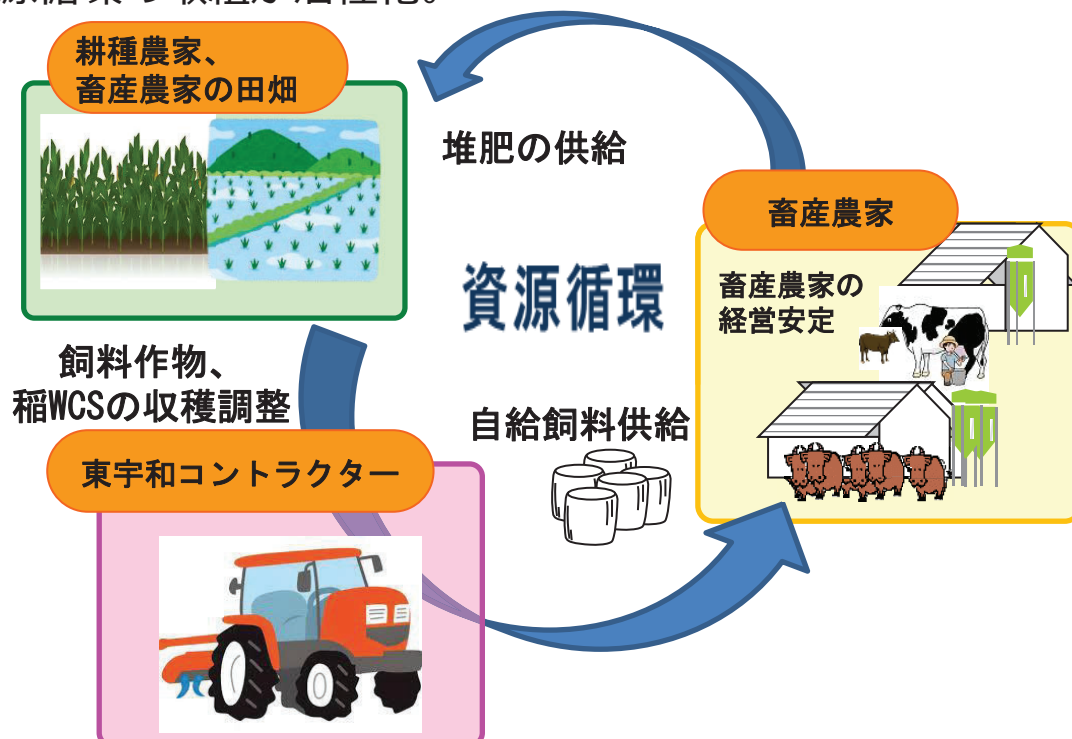
<取組について>

○ 概要

- 酪農家34戸を構成員として、平成25年に設立。本県酪農の主産地である西予市において、JAとも連携し、耕種農家や畜産農家の田畑に作付けされ、管内の酪農家を中心に40戸の畜産農家へ供給される飼料作物（飼料用とうもろこし29ha、ソルゴー30ha、混播26ha、WCS用稲28ha）の収穫調製作業を受託。
- 3台の収穫機械を効率的に運用することで、省力・低コスト化に資するとともに、自給飼料生産の効率化や品質・生産性の向上を図り、地域農業の維持発展を推進。
- また、畜産農家から生産される堆肥について、耕種農家による有効利用を促進。

○ 成果

- 高齢化を背景とした労働力不足が懸念される酪農家、肉牛農家をはじめ、耕種農家の作業を積極的に受託し面積を集約。地域の担い手として活躍。
- 稲WCSの生産拡大を通じ、耕畜連携による畜産農家から耕種農家への堆肥供給が拡大し、資源循環の取組が活性化。



○ 飼料作物収穫面積の推移

	H28	H29	H30
飼料作物	34ha	80ha	89ha
稲WCS	16ha	29ha	25ha

	R元	R2	R3
飼料作物	89ha	67ha	64ha
稲WCS	23ha	28ha	28ha